

## 「多様性」を複合的に理解するための領域協働型教育 —大学におけるダイバーシティ教育の実践のために

### 【代表者】

佐々木洋子 大阪市立大学 大学教育研究センター 特任助教

### 【共同研究者】

佐々木洋子 大阪市立大学 大学教育研究センター 特任助教

西倉実季 和歌山大学 教育学部 准教授

山口真紀 神戸学院大学 全学教育推進機構 講師

### 【研究概要（申請書より抜粋）】

近年、大学教育においては、現代社会において多様性への理解と配慮の重要性が高まるにつれ、多様性について配慮できる／自分自身の問題として多様性について考察できる人材の育成が課題となっている。先行研究からは、「多様性」とは、性別、障害、セクシュアリティ、エスニシティ、宗教……といった個別の属性の集合として捉えられるのではなく、個人においても、また場面においても重なりあって現象することが明らかになっており、複合的視点をもって概念的に理解する必要がある。しかしながら実際の大学教育では、個別の問題として各領域の中で展開されるにとどまり、真の「多様性」へのビジョンそのものにまでアプローチすることは難しい。そこで、本研究では、これまで隣接領域でありながらも個別に行なわれてきた研究・教育実践を共有し、ダイバーシティというより包括的概念を通じて発展させることを通じて、各分野における新たな論点抽出を目指すとともに、真に多様性の理解を進めるための教育方法を模索することを目的とする。なお、本研究課題での成果をもとに、共同研究として科研費等の外部資金に申請していくための基礎研究的な性格をもつものである。